

佛敎學セミナ

第 8 号

-
- 恵心僧都と四明知礼（上）……………安 藤 俊 雄… 1
——趙宋期における日中天台の交流——
- 根本説一切有部における帰依三宝について……………佐々木 教 悟…17
- 源信の教・観の性格について……………坂 東 性 純…32
——『観心略要集』を中心として——
- 撰大乘論における声聞乘のアーラヤの異門……………片 野 道 雄…46

人 と 業 績

- 常盤大定先生……………横 超 慧 日…62
——中国佛敎史研究の大成者——

書 評 ・ 紹 介

- 安藤俊雄：天 台 学……………藤 吉 慈 海…75
——根本思想とその展開——
- 塚本善隆：中国仏敎通史 第一巻 ……………三 桐 慈 海…80
- 平川彰：初期大乘佛敎の研究……………小 川 一 乗…85
- * * *
- 佛敎における体系と創造……………玉 城 康 四 郎…91
-

1968年10月

大 谷 大 學 佛 敎 學 會

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 6 号

宗教と民族性(上)……………佐々木 現 順
 光胤の唯識思想……………富貴原 章 信
 華嚴における佛の光明について(上)……………鍵 主 良 敬

* * *

インド佛教への道しるべ(2)……………舟 橋 一 哉
 —アビダルマ佛教—

《書評・紹介》

雲井昭善：佛教興起時代の思想研究……………前 田 恵 学
 井上善右衛門：佛教の倫理学的研究……………山 田 亮 賢
 —唯識大乘を中心として—

戸頃重基：鎌倉佛教……………坂 東 性 純
 —親鸞と道元と日蓮—

《海外学界ニュース》

国際東洋学会議に出席して……………桜 部 建

* * *

チベット佛典について……………山 口 益

¥ 200 〒 20

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 7 号

佛教研究について……………水 野 弘 元
 宗教と民族性(下)……………佐々木 現 順
 華嚴における佛の光明について(下)……………鍵 主 良 敬

《人 と 業 績》

南条文雄先生……………雲 井 昭 善
 —近代佛教学研究の先駆者—

《書評・紹介》

柳田聖山：初期禅宗史書の研究……………横 超 慧 日
 S. Mookerjee, H. Nagasaki: The
 Pramāṇavārttikam of Dharmakīrti……………E・シュタインケルナー
 雲 井 昭 善 訳

《海外学界ニュース》

フランス佛教学・日本学についての雑感……………白 土 わ か

* * *

インド佛教への道しるべ(3)……………安 井 広 済

—中観佛教—

¥ 250 〒 20

儒佛道の関係、尼僧教団の成立、そして多くの翻訳者の伝来等である。またこの章には鄒超の「奉法要」の訳文がのせられている。通史の中でこれだけのスペースをとるところ、本書の性格からもそれがよほど重大だと考えられたのに由るものであろう。

第七章 中国佛教史上の道安

釈道安は中国佛教を真的意味で形成した人として、佛教史上に特筆されるべきであろう。道安には佛教教団の成立、戒定慧の三字の重視、般若經の比較研究と探究、衆經目錄の編纂等、中国佛教への貢献は非常に大きい。そのためにもこの一章が別

設されていることには充分な意義があるであろう。本章は道安の生涯を三期に別けて順次に詳述され、道安の兜率天弥勒信仰で章を閉じられている。百頁に近い本章は宇井伯寿博士著「釈道安研究」等と並ぶ道安研究の成果であろう。道安研究については横超慧日教授がその著「中国佛教の研究」やその他の論文の中で多く述べられているところであり、殊に五失本三不易については独自の見解を発表されているけれども、本書の著者は全くこれに言及されていない。

(昭和四十三年刊、鈴木学術財団、A5版、三、〇〇〇円)

執筆者紹介

安藤 俊雄

大谷大学教授・文博

※リポジトリ非公開

佐々木 教悟

大谷大学教授・文博

※リポジトリ非公開

坂東 性純

大谷大学助教授

※リポジトリ非公開

片野 道雄

大谷大学育英学寮々監

※リポジトリ非公開

横超 慧日

大谷大学教授・文博

※リポジトリ非公開

藤吉 慈海

花園大学教授

※リポジトリ非公開

三桐 慈海

大谷大学助手

※リポジトリ非公開

小川 一乗

大谷大学洗心学寮々監

※リポジトリ非公開

玉城 康四郎

東京大学教授・文博

※リポジトリ非公開

編集後記

この「佛教学セミナー」は大谷大学の佛教学会が豊富な教授陣を挙げて世に問う啓蒙的な學術雑誌である。毎号一千部ずつ刷っているが、第一号、第二号、第三号はすでに絶版となり、各方面に御迷惑をかけているようである。

また前号において賛助会員を募集したところ、六十余名の会員希望者があり、その整理に編集部一同嬉しい悲鳴をあげている。

ところで今号には東京大学教授玉城康四郎先生の玉稿を載せることができた。これは今春五月三十一日、先生をわが佛教学会にお招きし、特別講演会を開催したときの御講演の筆録を、先生に加筆していただいたものである。お忙しい中、暑い夏にもかかわらず、貴重な時間をさいて加筆して下さった先生に厚く御礼申し上げます。

また藤吉先生にはコペンハーゲンへ出

講のため色々準備など御多忙の折、御無理なお願いをし、玉稿を頂き感謝する次第である。

今号には予想以上に多くの原稿が集まり、しかも力作揃いのため、一回に掲載されることを意図して書かれた安藤先生の論文を、編集の都合上、やむなく次号にわたって掲載することになり、先生には大変御迷惑をおかけしたと思う。ここにお詫び申し上げたい。

なお「人と業績」の英文タイトル *Men and Work* を今号より *Men and Their Work* と変更することにした。*Men and Works*, *Men and Their Works* であるように思われるが、この場合 *Works* といえば出版物が中心となり、この雑誌のように、「業績」といっても、出版物を含めた学界への貢献を意味する場合は *Work* の方がより一層よいこのことで *Men and Their Work* とした。

このことについて内外の多くの方々より御助言御教示を頂きありがとうございます。

ました。今後もこの雑誌について、御意見がありましたらどしどし編集部宛お便り下さい。できるかぎり皆様の御要望に応えていきたいと思ひます。(N・F)

佛教学セミナー

第8号

昭和43年10月25日 印刷

昭和43年10月30日 発行

¥250

編集
発行
編集
発行

大谷大学佛教学会

舟橋一哉

京都市北区小山上総町22

印刷

中村印刷株式会社

発売所

文栄堂書店

京都市中京区寺町通三条上ル
振替 京都 2948 番
電話 (231) 4712 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Articles :

- Eshin* and *Ssu-ming Chih-li* (I) *Toshio Ando* (1)
 —The Contact of Chinese and Japanese
 Tendai Buddhism in the *Sung* Dynasty—
- The Reverence for the Three Treasures in
 the *Mūlasarvāstivādin* *Kyogo Sasaki* (17)
- On the Feature of Genshin's Teaching on
 Theory and Practice *Shojun Bando* (32)
 —with Special Reference to his *Kwanjin Ryakuyō shū*—
- The Śrāvakayāna's Ālaya in the
 Mahāyānaśāstra *Michio Katano* (46)

Men and Their Work :

- Dr. Daijō Tokiwa *Enichi Ocho* (62)
 —A Master Scholar of Research
 in the History of Chinese Buddhism—

Book Reviews :

- T. Ando: The *T'ien-t'ai* Buddhism *Jikai Fujiyoshi* (75)
 —The Fundamental Thought
 and its Development—
- Z. Tsukamoto: The Comprehensive History
 of the Chinese Buddhism, Vol. I *Jikai Mitsugiri* (80)
- A. Hirakawa: A Study of the Early
 Mahāyāna Buddhism *Ichijo Ogawa* (85)

* * *

- The System and Creation of Buddhism *Koshiro Tamaki* (91)

Reports :

PUBLISHED FOR
 THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
 OTANI UNIVERSITY
 KYOTO, JAPAN